

## 地域リハビリテーションとは？

障害のある子どもや成人・高齢者とその家族が、住み慣れたところで、一生安全に、その人らしくいきいきとした生活ができるよう、保健・医療・福祉・介護及び地域住民を含め生活にかかわるあらゆる人々や機関・組織がリハビリテーションの立場から協力し合って行なう活動のすべてを言います。

(2016改定 一般社団法人 日本リハビリテーション病院・施設協会)



### 福島県県中地域リハビリテーション広域支援センター

受託機関	一財) 総合南東北病院	公財) 星総合病院
所在地	〒963-8563 郡山市八山田7-115	〒963-8501 郡山市向河原町159番1号
電話番号	024-934-5570(リハビリ科直通)	024-983-5532(かがやき健康館)
メールアドレス	kouikireha.minamitohoku@gmail.com	kouikiriha-hoshi@hoshipital.jp
受付時間	月~土 8:30~17:00	月~金 10:00~12:00 14:00~16:00
Hp	<a href="https://www.minamitohoku.or.jp/">https://www.minamitohoku.or.jp/</a>	<a href="http://www.hoshipital.jp/">http://www.hoshipital.jp/</a>
従事者	リハビリテーション専門職(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)	

### 福島県県中地域リハビリテーション相談センター

広域支援センターと連携・協力して地域の住民や施設、行政機関に対する相談支援、現地支援を行います。右記QRコードは相談センターの地区割表になります。



#### 【リハビリ専門職派遣申込方法】

左記QRコードのGoogle formより必要事項をご記入ください。  
なお、下記県中地域リハビリテーション事務局（総合南東北病院）に、メール若しくは、電話にて申し込みを行った旨をお伝えください。

#### 【問い合わせ先】

福島県県中地域リハビリテーション連絡協議会 事務局  
一財)総合南東北病院リハビリテーション科 TEL024-934-5570(リハ科直通)

## 福島県県中地域リハビリテーション 広域支援センターのご案内



県中地区では、これまで地域リハビリテーションを推進していくため、医療・保健・福祉関係者に対する研修会の開催や職種間のつながりを強くする地域リハビリテーション連絡協議会の運営など、様々な取組みを進めています。

地域リハビリテーション広域支援センターを拠点に、各地域の支援体制の強化を図り、リハビリテーションの立場から住民一人ひとりの生活をサポートしていきます。



福島県県中地域リハビリテーション連絡協議会

## 相談センターの役割

### 相談支援

- ▶ 専門相談窓口を設置し、ケアマネージャーや介護サービス事業所などの従事者からのリハビリテーションに関する相談に応じます。
- ▶ 利用者の心身機能の評価や環境調整など、自立支援に向けた具体的な助言や提案などを行います。

### ネットワークづくり

- ▶ 医療・介護などの関係者が横の連携を図り、リハビリテーションの立場から地域の中で協働できるよう、研修会の開催や地域リハビリテーション連絡協議会の運営を通し、多職種によるネットワークを構築していきます。

### 現地支援

- ▶ 相談内容に応じて、相談者の方と一緒に在宅訪問を行います。
- ▶ 地域で行う研修会の講師等に関しリハビリテーション専門職を派遣します。
- ▶ 地域へリハビリテーション専門職を派遣し、生活の困りごとをふまえた運動方法等を助言・提案することで、地域活動がより効果的なものとなるよう支援します。
- ▶ 専門職団体などと協働し、その人らしい暮らしの実現や生活の質の向上に向けた支援ができる専門職を増やしていきます。

### 「窓口相談の例」

- ・生活支援や指導の相談
- ・食事の飲み込みやムセなどの対応
- ・福祉用具の選定や住宅改修でお困りの場合
- ・リハに関連した栄養食事について（過体重や低体重）
- ・リハビリ、介助方法の相談



## 地域リハビリテーション支援体制について



### ▶ 現地支援について、事例をご紹介します。

#### 現地支援の実際1



相談内容	以前より少しふらつくようになり転倒の危険性があるため福祉用具など専門的視点で何かアドバイスをもらいたい。
支援した内容	・身体機能の確認(筋力・姿勢・バランス能力・動作) ・福祉用具設置による入浴動作の指導。玄関先階段の手すり設置改修の提案。 ・身体機能向上のためデイサービスや地域活動への参加を提案。
その後の変化	・入浴動作が自立した、ゴミ出しを自分で行えるようになった。 ・デイサービス利用し身体機能向上した。 ・地域活動に参加し意欲的に生活できるようになった。

#### 現地支援の実際2



相談内容	腰椎圧迫骨折により、筋力が低下した方の自宅での自主練習の方法やリハビリサービスの選択について、リハビリ専門職の意見を聞きたい。
支援した内容	・身体機能を確認(腰の痛みや生活状況の確認)し、痛みが生じにくい自主練習方法について資料を用いて助言。 ・ご本人の生活状況を踏まえた上で通所リハビリを提案。
その後の変化	・自主練習を継続し、通所リハビリでも意欲的に体を動かす機会が増えた。 ・痛みが軽減し、筋力が向上したことで趣味であった家庭菜園が再開できた。

#### 現地支援の実際3



相談内容	嚥下機能の維持のために「かみかみ百歳体操」を指導して欲しい。また、体操を通して嚥下機能の維持や改善が見られるか、効果判定をして欲しい。
支援した内容	口腔顔面の運動機能、嚥下動作、発声(声帯の運動機能)を測定。それぞれの機能を初回、3ヶ月後、1年度に測定し、継次的な変化を追う。
その後の変化	嚥下機能は向上傾向にあり、住民の嚥下機能低下を予防できている。